

軍樂く隊歌零番く 作詞 mito せのりこ 作編曲 弘田佳孝

一、御空を閉ぎせし 暗雲の影に  
鋭心の志士よ 恐るるまじ  
(みそらをとぎせし くらくものかげに)  
(えいしんのししよ おそるるまじ)

仰ぎて捧ぐは 我らが死命  
正義を護りて 散るをも辞さず  
(あおぎてささぐは われらがしめい)  
(せいぎをまもりて ちるをもじさず)

血潮に染め為す 荒野に向かい  
白刃貫く 色とも見遣れ  
(ちしおにそめなす あらのにむかい)  
(はくじんつらぬく いろともみやれ)

二、慕いて集いし 六晶の庭に  
刻みし誓いを 忘るるまじ  
(したいてつどいし ろくしょうのにわに)  
(きざみしちかいを わするるまじ)

御胸にかぎすは 真の光  
珠玉とも磨きて 世をしも照らせ  
(みむねにかぎすは まことのひかり)  
(たまともみがきて よをしもてらせ)

帝都を覆える 悪しきを穿ち  
災禍に挑みて 闇をぞ被え  
(みやこをおおえる あしきをうがち)  
(さいかにいどみて やみをぞはらえ)

いざ響けや 目映き 茜の空 高く  
いざ進めや 真白き 千尋の獣途を  
(いざひびけや まばゆき あかねのそら たかく)  
(いざすすめや ましろき せんじんのけものみちを)

三、砂塵に掲げし 紫紺の御旗に  
烈々の士気を 失うまじ  
(さじんにかかけし しこんのみはたに)  
(れつれつものしきを うしなうまじ)

義勇と繋ぎて 血風潜り  
奮いて凜たる 戦陣を征け  
(ぎゆうとつなぎて けっふうくぐり)  
(ふるいてりんたる せんじんをゆけ)

斃れし幾千 屍超えて  
己が御魂さす 矢をこそ示せ  
(たおれしくせん しかばねこえて)  
(おのがみたまさす やをこそしめせ)

いざ響けや 目映き 茜の空 高く  
いざ進めや 真白き 千尋の獣途を  
(いざひびけや まばゆき あかねのそら たかく)  
(いざすすめや ましろき せんじんのけものみちを)

いざ讚えや 目映き 高潔の志 高く  
いざ謳えや 花と咲く 刹那の春を  
(いざたたえや まばゆき こうけつのはるを)  
(いざうたえや はなどさく せつなのはるを)

mito せのりこ [Vo] 弘田 kulkko 佳孝 [Ba]

佐藤真也 [Pf/Key]

諏訪昌孝 [Dr]

Dani [G]